

おだわら市民交流センター指定管理者自己評価表（平成 29 年度分）

[評価点 5 優れている 4 やや優れている 3 概ね適正である 2 改善した方がよい 1 改善が必要である]

【機能の達成状況】

名称	評価点	評価の理由
拠点機能	4	拠点事業として、どの事業も UMECO の機能を生かし活動できた。UMECO 企画展では出品したい団体さんが増えているので調整しているところである。今年度は団体数 39 と行政は 14 回参加し多くの団体の活動紹介ができた。
相談・支援機能	3	相談に関して全員が対応できるよう努力した。団体からの相談内容で支援が必要なことは、対応した。
協働支援機能	4	地域の課題解決の為に市民活動団体の特性を生かし支援した。企業との協働事業は更に活発化し出演団体以外にも 2 団体が協力し更に拡大しつつある。
学習・体験機能	4	ボランティア機会の提供はそれぞれの事業で取り組んだが、特に夏休みボランティア体験学習では昨年より多い受入団体 47 参加者数 320 人という結果が出た。
交流・コーディネート機能	4	交流機能の事業はそれぞれの目的に合わせかなり交流がうまくできた。特に新春交流会では、連合自治会長さんと和やかに交流できたことにより地域活動団体とのネットワーク形成事業の協働の促進につながった。
情報の集約・発信機能	3	フェイスブック・ホームページ・UMECO だよりはそれぞれの機能をフル活用した。団体や市民からも反応を頂いた。

【コンセプトの達成状況】

名称	評価点	評価の理由	
誰でも気軽に つながりを生み出すきっかけ の場	4	どの事業も活動を通しつながりを重視しているので事業ごとに目的を達成するようきっかけ作りをしている。企業とは回を重ねるごとにつながりが深くなった。又ティーサロンには多くの方が参加して頂き交流ができ、つながりができた。	
シェアしながら それぞれの思いが繋がる 行動の場	4	わくわく交流会ではプチマーケットの中で誰でも気軽に団体とのつながりができた。まちづくり交流会として実施している「声の万華鏡」では朗読という熱い思いが繋がり大きく盛り上がり他市とのつながりもできた。	
地域の課題を解決する 行動を社会貢献につなげる 実現の場	4	企業とのネットワークでは、演じる季節に合わせ工夫をし、企業・市民活動団体・一般市民・学校とのつながりができた。地域活動団体とのネットワーク形成事業では地域活動団体の方が市民活動を理解しつつある中、期待している部分が多くなってきた。	
その他	男女共同参画	3	誰でも気軽につながりを生み出すきっかけの場を作るためには、今年度のようなドラ・トーザン氏の講演会はとても効果があった。
	国際交流	3	ティーサロンや UMECO 企画展に於いて国際団体に参加して頂き交流をすることができた。特に国際交流団体による企画展では、10月26日に西湘在日本大韓民国婦人会の皆さんによる、韓国のおやつ・お餅・人参茶などを無料でふるまい韓国のおやつを知る事が出来た。又韓国の民族衣装を自由に着付けて頂き、文化を知る良い機会となった。

【その他】

評価項目	評価点	評価の理由（評価点を2又は4とした場合で特別な理由があるとき、1又は5とした場合に記載）
センターの使用許可 ・会議室の許可等 ・市民活動プラザの許可等	5	事業計画書以上の人員を配置し、迅速な使用許可、付帯設備貸出等を行った。 【管理要員の基本ローテーション】 計画時は午前5人、午後7人、夜間3人 → 29年度は午前6人、午後8人、夜間3人
センターの維持管理 ・印刷機の維持管理 ・清掃業務 ・建築設備の保守管理 ・備品等保守管理 ・防火管理業務	4	建物所有者の小田原市事業協会担当者と連携し、建設設備の保守管理等、適切な管理に努めた。
事業計画・報告等に関する業務 ・事業計画書及び収支予算書等の作成提出 ・事業報告書の作成及び提出	3	
事業評価に関する業務 ・履行状況の報告 ・利用者の意見、要望の収集 ・利用者会議の実施 ・市との定例会議の開催	3	
施設利用者の安全管理及び危機管理	3	
市主催事業等への協力	4	公用車駐車場料金を免除（平成29年度322,500円相当）した。特別先行予約を受付けた。